



『プルームヘアケア』販売の目的

家庭で髪を「疎水毛」に修復し、サロン施術の時短・高品質化に貢献する。

■ 健康毛とダメージ毛は何が違うのか？

健康毛は、湿度が高い時でも湿気を吸いすぎず、逆に空気が乾燥している時でも、髪が乾燥しないように常に11～14%の水分量を維持しています。この状態が健康毛で「疎水毛」と言います。

髪がダメージするということは、「疎水性」から外れていくことを言います。ダメージ毛は空洞が多く乾燥したスポンジの状態、湿度が高い時は湿気を過剰に吸ってクセが出たり、逆に空気が乾燥すると髪も乾燥してバサバサになってしまいます。常に11～14%の水分量を維持することが出来ない状態をダメージ毛の「親水毛」と言います。また、髪が水分を10%以下しか保持できない状態を「撥水毛」と言い、例えば縮毛矯正やデジタルパーマでの高熱処理で、毛髪表面のキューティクルが熱で癒着して、水や薬剤、トリートメントが入りにくい髪質になります。

常に11～14%の水分調節ができる「疎水毛」の状態に戻すことはとても重要です！！

■ 「疎水毛」にするということ【11～14%の水分調節ができる状態(健康毛の状態)】

髪が疎水であるという意味は、きれいな仕上がりはもちろん、カラーの色持ちやウエーブの持ち、トリートメントの持ちがよくなる、ストレートが湿気でよれないという効果があります。いろいろ栄養分を補っても毛先を引っ張ると伸びてしまう親水性では本当の修復にはなっていません。親水性は油分も補いにくい状態です。水分(11～14%)と油分(1～8%)のバランスを保つことが、きれいな髪でいるためにはとても重要です！！

